

サンタ苦勞す!!



12月の行事予定

- 1日(木) 人権相談
- 2日(金) 診療所休診日
- 14日(水) 行政相談
- 23日(金) ハローワーク巡回

高山市図書館荘川分館

【特集のご案内】あたたかく暮らす
寒い冬がやってきました。少しでも快適に暮らす資料を集めます。

【12月休館のお知らせ】

- 5日(月) 19日(月)
- 12月29日(木)~1月3日(火)



【快挙!】岐阜県代表として三島 恵亮さんが出場

第1回東海ジュニアオープンバドミントン選手権大会に
荘川中2年 三島 恵亮さんが岐阜県代表として出場します。
種目: 男子ダブルス 期日: 2022年12月24日~25日
場所: 名古屋市緑スポーツセンター

飛騨地区県予選 10/15

団体の部 優勝 遠所 叶望 (他の選手と出場)
個人の部 3位 遠所 叶望

第52回高山市民バドミントン大会 11/6

女子ダブルス2部 準優勝 遠所 叶望・三島 紗貴帆
男子ダブルス1部 優勝 山前 翔吾

高山卓球選手権大会 11/20

中学男子シングルス5位 高橋 佑和

【少年剣道教育奨励賞受賞】

荘川少年剣道クラブ

荘川少年剣道クラブが2022年度の「少年剣道教育奨励賞」を受賞されました。おめでとうございます。



町民ひろば

↓町屋の向田さん宅の雪つりの様子です。芸術ですね。



【荘川で仮装大賞!】ハロウィンパーティー



↑10月27日にどんぐり広場、31日に荘川保育園がまち協にやって来ました。おばあちゃんやおばちゃんからお菓子をもらったり、ハンコを押してもらって最後に記念写真でハイポーズ♡みんな元気で大きくなーれ!

編集後記

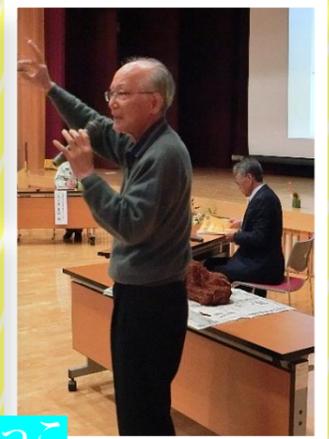
今秋は木々の紅葉が色鮮やかで、厳しい冬を迎える前の癒しの時季でした。コロナの大波もまた押し寄せる気配で、インフルエンザと同時流行も懸念されています。冬支度と共に、手洗い、換気など感染症の冬支度も強化していきましょう。(フレディ) 《広報委員》三島 加津彦・坂上 剛・湯口 健太・栗田 雅美

広報 しょうかわ

NO.91
荘川町まちづくり協議会
編集: 広報委員
発行日: 令和4年11月25日

荘川桜講演会を11月10日に開催しました。4人の先生方が、荘川桜の危機について分かりやすく解説してくださいました。たくさんのご参加ありがとうございました。

荘川桜がキノコの住みつきによる木材腐朽菌で腐食が進み、幹が空洞化しつつある現状を聞き、住民たちはショックを受けました。その中でも新しい根が生えてきて、かすかな希望があることも知りました。今後も町民全員で守っていきましょう。



↑菌に侵された根っこ

↑右から
電源開発御母衣電力所

- 株式会社庭正造園 佐々木康行先生
- 日本樹木医会員 丹羽 英之先生
- 日本樹木医会員 多賀 正明先生
- 日本樹木医会員 安田 邦男先生



令和4年11月1日現在
()内は前月対比
人口と世帯

総人口	1,005 (-3)	総世帯	397 (-2)
男	480 (-1)	女	525 (-2)

しょうかわ〜友達の輪 26

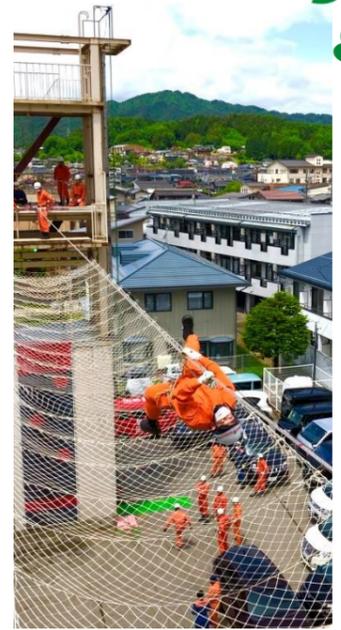
荘川を担う若者から高齢者まで広い範囲で荘川に思うことそして荘川の好きなところなどを掲載しています。第26回目は、桜本 優さんを紹介します。



- 名前 桜本 優 (さくらもと ゆう)
- 現在の仕事 ★高山市消防本部高山消防署警防課
というところで仕事しています。
- 現在はまっていること アウトドア全般
家庭菜園、舞踊。



- 荘川の好きなところ
★綺麗な山や川。昔から続く伝統芸能。
- これからの荘川について思うこと
★町民の数が年々減少している実情があるため、少しでも都市部から移住しやすい環境を整備することが必要であると思います。SNSで発信できることを多くの町民の方で発信できる環境になればと思います。また、誇れる伝統芸能や自然豊かな部分を発信することも1つの手段として活用していければと思います。



10/1 から荘川支所長が着任

【出身地】岐阜県加茂郡七宗町 【趣味】山歩き、トレイルランニング、自然散策クラフト（宮笠編めます）、そば打ち
【荘川に来て思うこと】荘川桜や五連水車・そばの里のイメージが強く、化石や白山など自然の宝物がたくさんある町だと思っています。着任して強く感じたのは、義務教育学校の整備に向け、地域の皆さんが強い気持ちで熱心に取り組んでいることです。将来の地域の大切な施設であり、支所としても力を入れ取り組んでいきたいです。まだ荘川の良い所、課題など十分把握できていませんが、町の皆さんと一緒に、荘川を盛り上げたいので、よろしくお願いします。



中島 照雅

【大切な文化伝統】郷土芸能祭・文化展 10/29~30

今年も郷土芸能祭を開催しました。50年以上続いている歴史のある行事です。昭和50年頃は、農業が落ち着いた10月末~11月始めにかけて農業祭と兼ねて行われていました。今年も民謡・太鼓・人形劇・舞踊など、子どもから大人まで日頃の練習の成果を披露しました。2日間にかけて行われた文化展に作品を提出していただいた方々ありがとうございました。



【世界へ羽ばたく荘川町！】荘川町第1回ドローン空撮大会 10/22~23



荘川町をPRするための企画として、初めてドローン空撮大会を開催しました。当日は5名の参加者が、荘川桜や紅葉などを空撮し上映しました。併せて美濃市のドローン会社ROBOZ（ロボッツ）の社長がドローンの魅力について実演も交えて楽しい講話をしてくださいました。参加者の作品はまち協YouTubeで配信していますのでぜひご覧ください。



【さよならだけどさよならじゃない】ふれあい研修大会 11/12



現在の荘川小学校の校舎としては最後となる、ふれあい研修大会を開催しました。オープニングでは

学校周辺のドローン映像が流れ、子どもたちは普段見ることができない映像に興奮していました。保育園児のパフォーマンスや小中学生の合唱の後は、校舎の思い出をみんなで語り合いました。



【ひねり踊り復活！】令和5年10月15日実演に向けて



荘川ひねり踊りの実演に向けて



160年の歴史ある荘川ひねり踊りを子どもや青年達に継承し、後世に残していくように、新たな取り組みをしているひねり踊り保存会の牧下です。荘川町を盛り上げてきたふるさと祭りがなくなり、追い打ちをかけるようにコロナ感染が始まり荘川町全体の活気が薄れる中、少しでも荘川町が活性化するよう荘川の伝統芸能を再演する計画を令和3年に立ち上げました。去る9月27日には、荘川小学校でひねり踊りの歴史を教えその後は、ひねり踊りの練習をしました。荘川の芸能団体や荘川町まちづくり協議会社会教育部会の関係者に協力を頂き、令和5年10月15日、「音と舞の祭典」と称し実演を予定しています。1年後の実現に向け会員一同準備の段階です。その折には皆様のご協力も何卒よろしくお願いします。

伝統芸能を守る会 牧下 盛幸